

復興行事に手形のメッセージ

# 新庄南高生届ける

区宅  
林住  
若台  
仙設  
仮

仙台市若林区の仮設住宅で行われた復興イベントに新庄南高（高山茂校長）の生徒たちが参加し、全校生徒と教職員計約500人分の手形を押しした応援メッセージを現地に届けた。

メッセージは被災者と心の交流を深めたいと、同校の文化祭「新南祭」の絆プロジェクトで制作した。手形を押しして貼り合わせた紙は縦4・8畳×横4畳の大きさに。「ワン・ピース

みんな一つ世界は一つ」との言葉が記されている。

若林区の若林日辺グラウンドに設けられた仮設住宅で27日開かれた「鎮魂と復興のつどい」に、同校生徒や新南祭実行委員の生徒ら約20人が参加。大きなメッセージを披露すると、住民らから感謝の拍手が湧き



仙台市若林区の仮設住宅の住民らに贈った新庄南高の手形メッセージ||仙台市・若林日辺グラウンド（提供写真）

起こった。現地の六郷中体育館に掲示される。

同つどいは230戸の住民らで組織する自治会が主催し、住民同士が交流を図るイベントで、新庄南の生徒たちは焼きそばなどを販売し、現地の被災者と親睦を深めた。

また、今年4月から同校で募った義援金10万円と、出店の売上金を同自治会に寄付した。